

2023年2月1日

各位

株式会社北洋銀行
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

薬効診断薬の開発に取り組む HILO 株式会社様に 「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」を通じて出資しました

株式会社北洋銀行、株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、2023年2月1日付で HILO 株式会社様（本社：札幌市 代表：天野 麻穂様）に「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド（北洋 SDGs 推進 2 号投資事業有限責任組合）」を通じて1,000万円出資しました。

当社は、慢性骨髄性白血病の患者に対し、投薬開始前に薬治療の効果を判定できる薬効診断薬の研究・開発に取り組む北大発スタートアップ企業です。現在国内 13,000 人、全世界 80,000 人と推定される慢性骨髄性白血病の患者に対し、当社開発の光診断薬「Pickles（ピクルス）」で、患者さんごとにどの薬が最も効果的かを事前に判定します。これにより、早く深い寛解に導けるようになるほか、高価な薬代削減による経済的な負担の軽減にも貢献します。将来的には、肺腺癌など他の癌へ適用を拡大する予定であり、2026年度の薬事承認を目指した取り組みを進めています。

患者の方へ希望を与える社会的意義の大きな取り組みであると当社事業を高く評価し、「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」を通じて出資することとなりました。

「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」は、SDGs（＝持続可能な開発目標）のコンセプトに合致する道内中小企業を投資対象とし、資金の提供を通じて地域企業が抱える課題を解決し、地域経済の活性化と北海道の持続可能な発展に貢献することを目的として2022年6月に組成したファンドで、本件が1件目の出資となります。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。